

小豆島

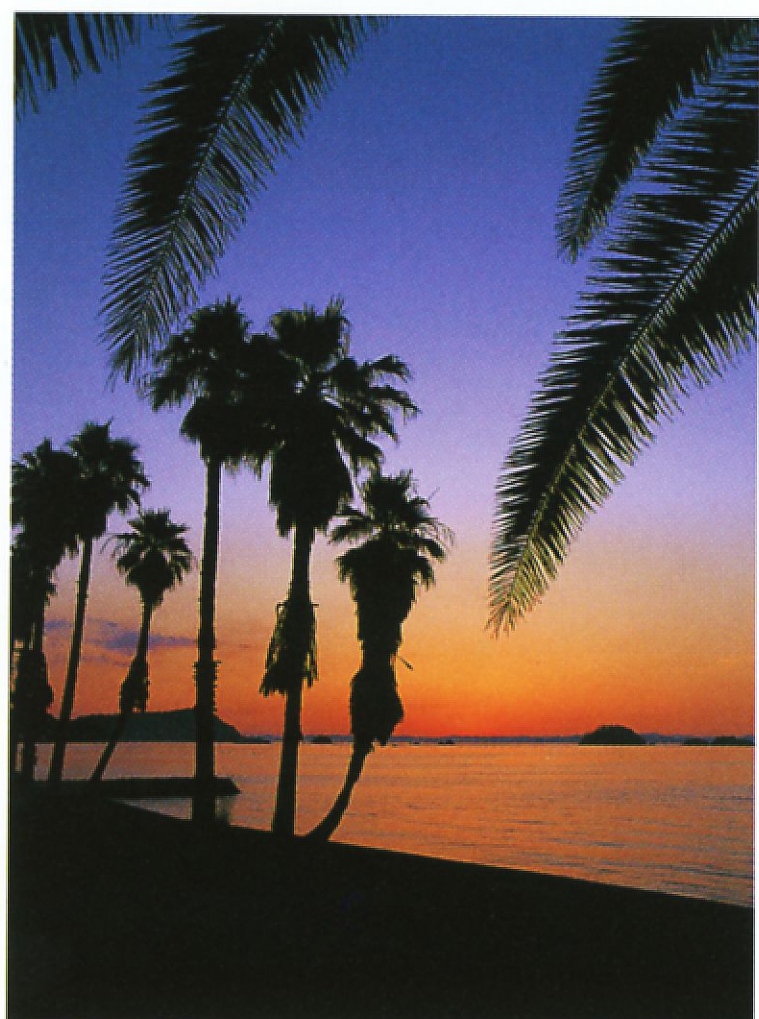
自然の宝宝箱





エンジェルロード（天使の散歩道）

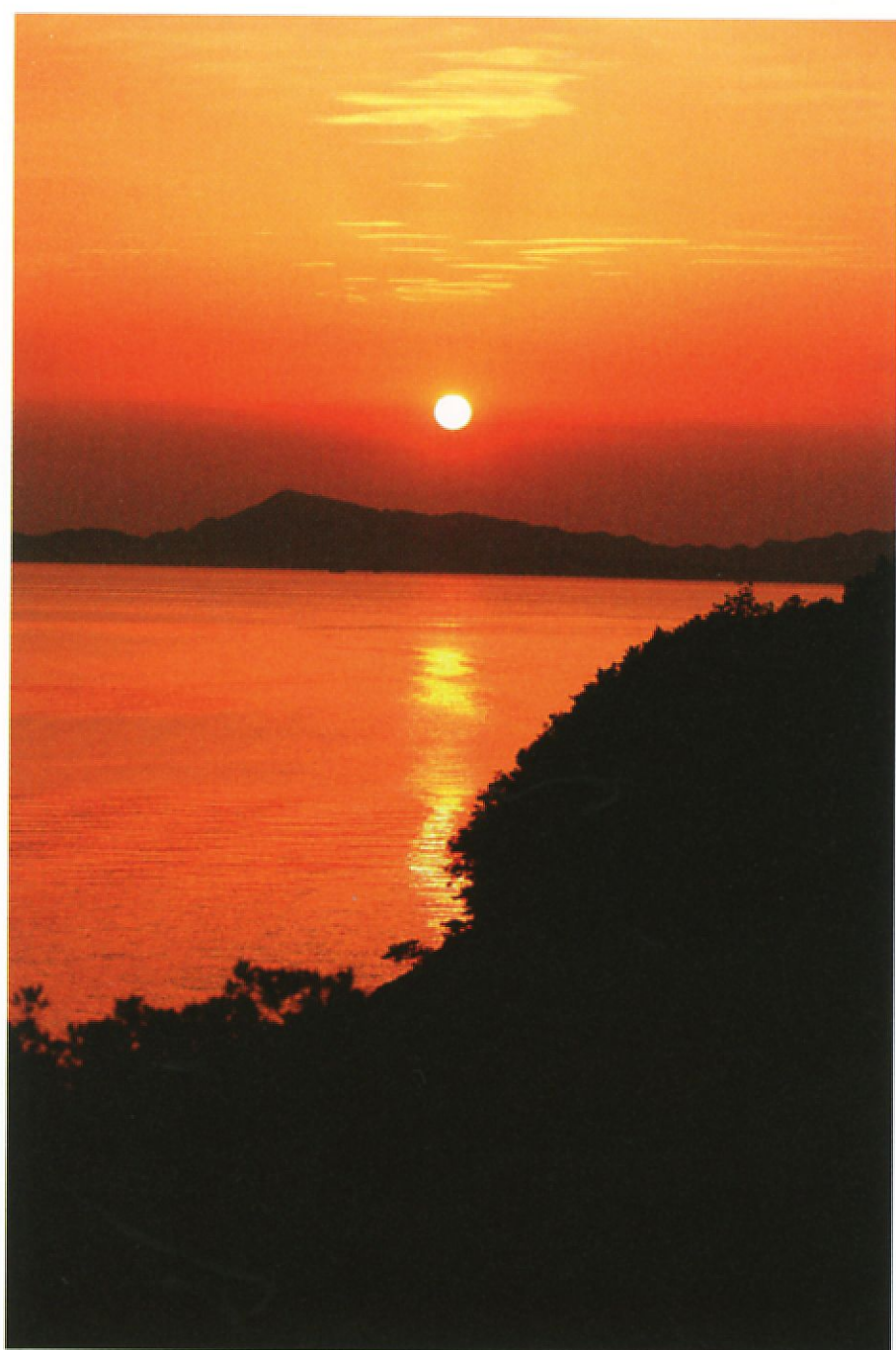
【エンジェルロードの夜明け】
熱き鼓動を感じる夜明けと共に、
新たな旅のドラマが始まる予感。
心魅かれる島影と波の囁きに、
天使も舞い降りてきそう……。



小部海水浴場

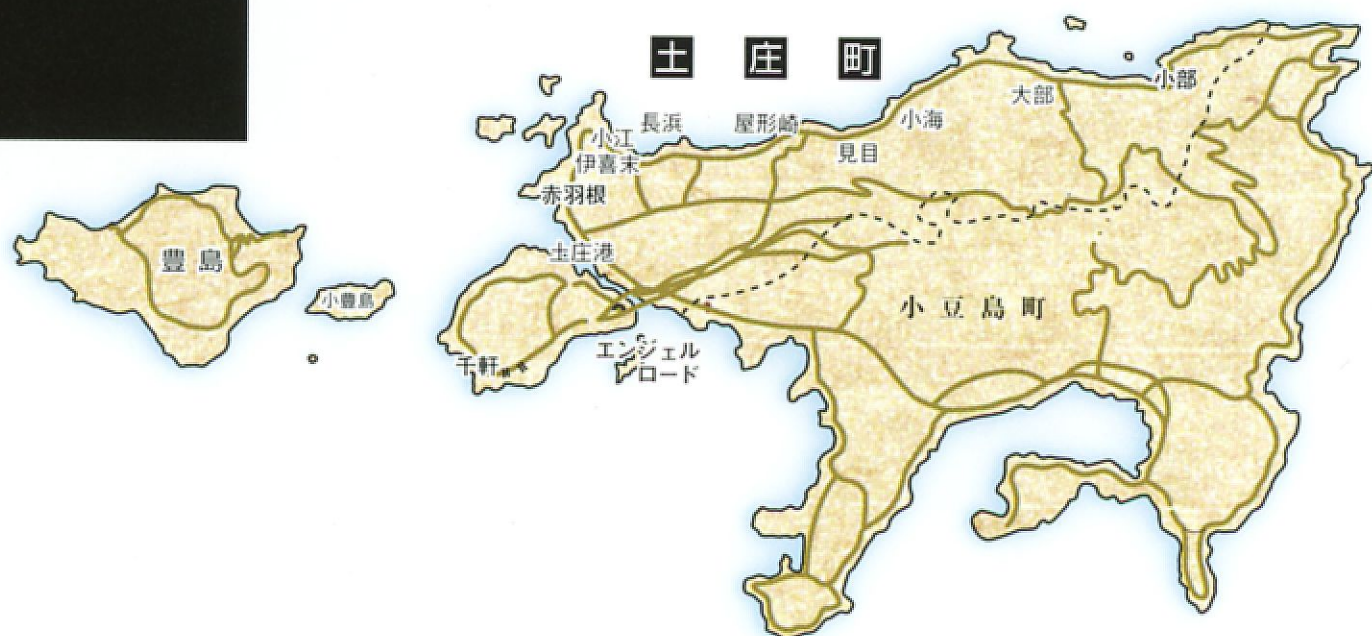


千軒



赤羽根の夕陽

【日本の夕陽百選】
小豆島の
夕陽スポット
夕陽の柔らかな光が覆う、
陰陽の景。
大小の島々ひとつ一つを愛でるように、夕陽
が瀬戸内を包み込む。夕暮れの情景は、島々
のシルエットが織りなす幻想的な感動を伝え
ます。小豆島の夕陽スポットは、「日本の夕
陽百選」にも認定されており、壮大な自然が
醸し出す美しい景観は一年を通じて見ること
ができます。海面に長く伸びた黄昏色の輝き
は、身も心も癒してくれます。



想

気持ちの贅沢な時間 ひととき
心を和ませる舞台「小豆島」





銚子溪お猿の国



平和の群像



二十四の瞳映画村



岬の分教場



キネマの庵

平和と幸せへの願いを込めて、
瀬戸の海を臨む平和の群像。

小豆島の海の玄関口・土庄港に海を臨んで立つのが
『平和の群像』。不朽の名作・二十四の瞳のブロンズ像
です。平和と幸せへの永遠の願いをこめて建てられ、
島へ訪れる人をやさしい瞳で迎えてくれます。

緑の中でたわむれる
小豆島の楽しい動物たち。

楽しい野猿が、子供たちの人気を集めているのが、「銚
子溪お猿の国」。餌づけされた約500匹の猿たちが、
自然公園の中に群をつくっています。

【小豆島オリーブ公園】
オリーブ栽培発祥の地小豆島。
内海湾を見下ろす丘に建つ
ギリシャ風車。
地中海沿岸を思わせる風景は
旅人の心を癒してくれる……。

癒

二十四の瞳がそのままに
詩情あふれる岬の分教場。

おなご先生と十二人の子供たちの心あたたまる小説「二
十四の瞳」の舞台となった分教場が、昔日のおもかげを
残したまま保存されています。教室の中は、まるで小説
の時代へタイムスリップしたよう。

「二十四の瞳映画村」は、昭和初期の風景に出会うこと
ができます。昭和62年、「二十四の瞳」再映画化のため
に作られたオープンセットで、おなご先生を演じる女優
の田中裕子さんと十二人の子供たちが素晴らしい演技を
繰り広げたところです。村内の壺井栄文学館には、「二
十四の瞳」の作者・壺井栄の貴重な遺品なども展示され
ています。また村内にある、「キネマの庵」は、日本映
画黄金期といわれた1950年代の映像と写真が飾られ
ていたり、レトロな空間でカフェなども楽しむことがで
き、時代をタイムスリップしたような気分を味わうこと
ができます。



小豆島オリーブ公園のギリシャ風車



寒霞溪ロープウェイ



オリーブ園



銚子の滝



寒霞溪の紅葉



名水仕込みの田園

日本有数の溪谷美を誇る、 雄大な寒霞溪。

瀬戸内海国立公園の象徴、日本三大溪谷美の一つとも賞され、表12景、裏8景からなる雄大なスケールの景勝地です。紅葉の名所としても有名で、秋の深まりとともに、紅葉のじゅうたんは徐々に麓へと広がり、山全体が紅く黄色く鮮やかに彩られます。ここから草壁港へ向かう寒霞溪ブルーラインには、瀬戸内海のパノラマが美しく、さわやかな自然を満喫することができます。

雄大な溪谷美に彩られた 小豆島の自然。

海拔817メートルの星ヶ城を最高峰として雄大に続く山々も小豆島の大きな魅力。島の中央を貫く小豆島スカイラインを行けば、銚子溪から美しい原高原、寒霞溪とスケールの大きな溪谷が続いています。新緑や紅葉など、四季折々の自然の景観にあふれ、皇踏山や星ヶ城の遊歩道、土庄町野外活動センターなど、その魅力を満喫するスポットが点在しています。

【寒霞溪周辺マップ】



【寒霞溪・ロープウェイの車窓から】

四季折々に優雅な表情を演出する
美しさには、心を奪われてしまう。
悠久の時の流れが育んだ仙境の地は、
時を忘れる自然の財産……。

豊かな自然を満喫する 景観の地・銚子溪。

小豆島スカイラインの入口にあたる銚子溪は、緑に彩られた風光明媚な溪谷。中でも高さ21メートルある小豆島最大の「銚子の滝」は壮観で、新緑に水がしぶく初夏から太陽の光とのコントラストが美しい夏、紅葉に滝が映える秋、岩肌に大きなツララが下がる冬と、四季を通じて楽しめます。

名水、湯舟山の麓に ひろがる田園は里人とともに。

水源の小豆島霊場第44番・湯舟山のわき水は「日本の名水百選」に選ばれています。数百年前より、農業用水や生活用水として地域に潤いを与えた貴重な命の水は現在も里人に利用されています。

感





迷路のまち

多彩な海の表情にあふれた 瀬戸の真珠・小豆島。

大小20あまりの小島とともに瀬戸に浮かぶ島、小豆島は瀬戸内海で2番目の大きさを誇る島です。半島、入り江、岬と複雑に入り組んだ表情豊かな海岸線はきつとあなたを虜にするでしょう。白砂青松の美しい風景で知られる銀波浦や双子浦。マリンスライダーが楽しい鹿島海水浴場や小部海水浴場など、瀬戸の魅力がいっぱいです。

情緒あふれる町並みは

島人の知恵で作られた迷路のまち。

瀬戸内海に居た海賊から島を守るために迷路のように作られた道は、当時の島人の知恵が垣間見られます。昔ながらの変わらない町並みは島人のふれあいとともに旅人の情緒を誘います。



土渕海峡

幅9・93メートル、 世界一狭い土渕海峡・フレトピア公園。

小豆島でちよつと変わった世界一を誇るのが土庄町の中心に横たわる「土渕海峡」。幅は最少9・93メートルで、ギネスブックに世界一「狭い」海峡として認定されています。狭いとはいえ、立派な海峡。ここを渡った記念に「世界一狭い海峡横断証明書」を発行しています。

戦国ロマンの夢のあと。

道の駅「大坂城残石記念公園」

約400年前、大坂城修築のために、切り出されながら使われなかった巨石を中心に整備された公園です。当時の輸送方法などが分かりやすく再現されています。

瀬戸を見晴らす景観が魅力の

高見山公園・冒険の森。

土庄町の中心部に近い高台にあり、瀬戸内海を一望に見渡せるのがここです。かつてここに築かれていた山城を模した展望台では、美しい海原の向こうに遠く本州や四国が臨めます。四国屈指の97メートルのジェットローラーライダーや小林一茶の句碑などもあり、のんびりと楽しむ散策も魅力です。

【ヘルシービーチ】

波静かな瀬戸内を眺めながら
ひとときの安らぎに包まれて。
穏やかな風と、
ふと語り合う
自然との対話空間……。



小豆島温泉郷

癒しと和みを求めて…… ゆったりとくつろげる小豆島温泉郷。

平成になって小豆島には待望の天然温泉が湧出しました。露天風呂などで、生命あふれる朝陽を浴びながら一日のスタートのために、また、美しい夕陽を眺めながら今日一日の思い出を語り合う……。そんな楽しみ方ができるのが小豆島の温泉です。また、全国的にも数少ない温泉を備えたオートキャンプ場もあります。四季折々の美しい景色にふれながら「小豆島天然温泉」を楽しむことができます。



高見山公園

思



大坂城残石記念公園



今も多くのお遍路さんが めぐる島四国。

「島四国」と呼ばれる小豆島の霊場。四国の霊場と同じ功德が得られると言われ、年間10万人ものお遍路さんが島を訪れています。毎年、初大師の1月21日には、霊場総本院で霊場開きが行われます。

宝生院には、樹齢千五百年以上と推定され国指定特別天然記念物に指定されている真柏があります（写真表紙）。その大きさには歴史の重みを感じられます。また、神秘的で雄大な造形美を誇る石門洞は自然が造り上げた芸術品。感動させる絶景には、言葉はいりませんね。

大きな観音像がひととき目を引く「小豆島大観音・佛歯寺」。1万体の胎内仏や、遠くスリランカから贈呈されたお釈迦さまの分身・佛歯が祭祀されています。

はるか悠久の歴史と 文化に彩られた小豆島の心。

小豆島の歴史はずいぶん古く、日本最古の書物・古事記に「あずきしま」として登場します。応神天皇の伝説や南北朝の武将・佐々木信胤とお才の局のロマンスなど、歴史の島ならではの数々の伝説・秘話も残されています。また、昔は「芝居の島」として知られ、島内に農村歌舞伎舞台が現存しています。中でも「肥土山の舞台」「中山の舞台」は、国の重要有形民俗文化財。今でも例年、歌舞伎芝居が上演され多くの人々にぎわっています。

孤高の人に心をよせる 小豆島尾崎放哉記念館。

尾崎放哉は、大正期の俳人で、霊場58番札所南郷庵でその生涯を閉じました。ここから放哉の自由律の俳句の秀作がつつぎと生み出されました。「小豆島尾崎放哉記念館」は、その庵を当時のまま復元したもので、放哉ゆかりの文献などが展示されています。

小豆島の名産・オリーブとしょうゆは、 素朴な島の味わい。

小豆島には、文化とともに瀬戸が育んだ素朴な産物がある。いろいろなあります。そんな味わいをめぐるのも島の魅力です。館内に漂うしょうゆの香りが、昔懐かしい雰囲気を感じさせているのが「マルキン醤油記念館」。大正初期から使われていた「もろみ蔵」を改造して、しょうゆの歴史と製造方法を楽しく紹介しています。

オリーブ独特の深い緑に包まれる「オリーブ園」には、広々とした園内に1900本ものオリーブの木が植えられています。オリーブやハーブに囲まれての散策は、心身共にリフレッシュすることができます。ここではオリーブオイルなどのオリーブ製品が数多く取り揃えられています。



小豆島霊場第18番 石門洞



小豆島大観音



お寺の住職



小豆島尾崎放哉記念館



小豆島霊場第72番 滝湖寺奥の院 笠ヶ滝の釣鐘



肥土山農村歌舞伎



マルキン醤油記念館

小豆島霊場第81番
日本三大不動
【恵門之不動】
信仰の島 小豆島で
あたたかく包み込むような不動
明王に導かれ
祈り、願う…………。







小豆島 風物詩

地中海を

思わせる

瀬戸の

おだやかな気候と

やさしい島の

人々の手が育んだ

小豆島の風物。

どこか懐かしい

気持ちに

させてくれる……

そんな素朴な

味わいに

ふれる旅を

お届けします。

「オリーブ」

オリーブアイランドといわれるように、小豆島のシンボルとなったオリーブ。そのオリーブが初めて小豆島に植えられたのは、明治41年のことです。当時、国内にオリーブを根づかせるため、三重、鹿児島、そして小豆島の各地で試験栽培が行われましたが、そのうち見事に栽培に成功したのは小豆島のオリーブだけでした。オリーブは、5月末から6月はじめ頃に白い小さな花を、枝いっばいにつけ、香川県の県花にも指定されています。そして梅雨明けの頃、グリーンの実を結び、10月下旬から11月にかけて光沢のある黒紫色に変わるころ収穫が始まります。オリーブを使ったものの中で、一般的なもの塩づけ。また、実の果肉から搾られるオリーブオイルは、その光沢と黄金色の色調、高い栄養価、幅広い用途から植物油の女王と呼ばれています。こんなオリーブの味わいも、日本の地中海と呼ばれる小豆島ならではです。



「手延べ素麺」

小麦を石うすでひいて粉を作り、塩と水を混ぜ合わせて細く、細く延ばしていく……。そんな素麺づくりが小豆島ではじまったのは今から四百年前の昔。その独特の味わいは多くの人々を魅了し、今では全国三大産地の一つに数えられるようになりました。そのまろやかでコシのある味わいを育んだのは、おだやかな瀬戸の気候。素麺づくりに適した、雨が少なく乾燥した空気と美味しい水が、小豆島素麺ならではの美味しさを育んでいます。もう一つ独特の味の良さを引き立てているのがその製法。麺を延ばすときに使う油に、全国でもめずらしい純正ごま油が使われています。夏は冷やし素麺、秋から冬にかけては熱いダシにひたす湯めん、さらにみそ汁に浮かべたり、その味わい方はいろいろ。お好きな食べ方で、その素朴な味わいをたっぷり楽しんでください。



名品

「しょうゆ」

広く料理に使われ、日本料理に欠かせない調味料のしょうゆも、小豆島の特産の一つです。恵まれた気候風土から生まれた小豆島のしょうゆは、文化年間に始まり、今では小豆島の4大産業の一つに数えられています。また、しょうゆを搾る前のものを「もろみ」といいますが、これもまた美味しい小豆島の味。きゅうりや切り干し大根につけたり、焼き魚につけたり、味わい方はいろいろ。オリーブのもろみ漬けも小豆島ならではの味わいといえるでしょう。



「佃煮」

小豆島の名産の一つが佃煮。自慢のしょうゆを使った味わいは、一度食べたらきつと忘れられない味になることでしょう。原料に昆布、瀬戸内でのれたのり、わかめ、魚貝などを使い、どれも深い味わいが自慢の逸品ぞろいです。とくに昆布の佃煮は全国の生産の30%近くを占め、全国一を誇っています。



「ごま油」

栄養のバランスにすぐれたごま油は、小豆島が全国トップシェアを占めていることをご存じでしょうか。豊かな自然に育まれた昔ながらの製法でサラリと仕上げた一番搾りは、ミネラルやカルシウム、ビタミンなど、天然の成分をそのまま逃がさないヘルシーオイル。しかも揚げ物や炒めもの、サラダなど、多彩に味わえる小豆島自慢の名産です。



「スイートスプリング」

小豆島の新しい味覚がスイートスプリング。八朔とみかんの交配品種で、小豆島の温和な気候に育まれ、甘い味が自慢の小豆島の特産果実です。



郷土料理

「押し寿司」

島のお祭りや祝い事の際に出されていたのがこの押し寿司。木枠の中へ寿司めしを詰めて、サワラをはじめ島の魚のほか、卵焼き、エビ、焼きアナゴなどを乗せてしっかりと押しやる。ぷくんと香る酢の香りが思わず食欲を誘うふるさとの味です。



芸能

「石節」

うれしめでたの若松さまよ、枝も茂れば葉も茂る…大坂城築城の石を山から海岸へ引き出す時に唄われていたといわれる民謡で、いちばんよく唄われています。唄の一節ごとの切れ目に、「ああよおいさどっこい」というはやし言葉がつき、この時に力を合わせて石を引いたといえます。



「小豆島地搦唄」

雨が少ないの時には困りものです。早魃で困っている百姓たちを救うため、太田伊佐衛門という肥土山の庄屋が溜め池を築きました。そのときから堤の復旧や嵩上げの工事のたびに何回となく繰り返し唄われてきたという独特の民謡です。

観光案内	
●土庄町商工観光課	☎62-7004
●小豆島町商工観光課	☎82-7007
●小豆島観光協会	☎62-5300
●小豆島とのおしろう観光協会	☎62-2009
●オリブナビ小豆島	☎82-7007

●小豆島霊場協会…………… ☎62-0227

- フレトピア公園「土洲海峡」……………82-7004
- 銚子溪お猿の国……………82-0768
- 寒霞溪ロープウェイ……………82-21
- マルキン醤油記念館……………82-0047
- オリーブ園……………82-4260
- 岬の分教場……………82-5711
- 二十四の瞳映画村……………82-2455
- 小豆島尾崎放牧記念館……………82-0037
- 「道の駅」大坂城残石記念公園……………85-2865
- 小豆島大観音……………84-6888
- 「道の駅」海の駅「小豆島ふるさと館」……………75-2266
- 小豆島オートビレッジYOSHIDA……………81-7007
- 孔雀園……………75-0585
- 「道の駅」小豆島オリーブ公園……………82-2200

- ひとみ荘 62-0174
- オーキドホテル 62-5001
- 旭屋旅館 62-0162
- 旅館たいま 62-0460
- 丸亀屋 62-2005
- 大師の宿 三番館 62-0554
- 喜久屋旅館 62-0271
- むさし旅館 62-0987
- アモーレ・デシマリゾート 68-3331
- ホテル海南荘 62-1422
- シーサイドホテル松風 62-0848
- ビーチサイドホテル鹿島荘 62-0492
- ホテルニュー海風 62-1323
- 小豆島グランドホテル水明 62-1177
- ニュー観海本館天空ホテル海盛 62-1430
- 小豆島国際ホテル 62-2111
- 鳥の宿 大国屋 62-1155
- 八千代旅館 62-0208
- ホテルグリーンブラザ小豆島 62-2201
- リゾートホテルオリビアン小豆島 65-2311

- やすごろう ㊟67-3116
- マルセ ㊟62-2385
- 美浜荘 ㊟62-2129
- 岡本屋 ㊟62-1880
- 丸 善 ㊟62-3146
- 忠 七 ㊟62-3679
- 中 村 ㊟62-2677
- オアシス ㊟62-2495

- はまや..... ☎67-2101
- なかや..... ☎67-2121
- かつや..... ☎67-2131
- やなぎや..... ☎67-2221

●カントリーインザホワイトマリーン ☎62-5040
●サンセット・コースト ☎62-2794
●ログハウス グラン・シャリオ ☎64-6081

●ニューポート.....☎62-6310
●しらはま.....☎62-4033
●ひさや.....☎67-2151

- 国民宿舎小豆島…………… ☎75-1115
- オリベックスうちのみ(ロッジ) …… ☎82-2220
- 小豆島オリブユース…………… ☎82-6161
- 小豆島サイクリングターミナル…………… ☎82-1099
- ふるさと荘…………… ☎75-2266
- 小豆島ふるさと村ファミリーロッジ…………… ☎75-2266

- 小豆島バス..... ☎62-1210
- 旭屋観光バス..... ☎61-1515
- やなぎや観光..... ☎67-2222
- 小豆島観光タクシー(SK)土庄..... ☎62-1201
- 小豆島観光タクシー(SK)内海..... ☎82-1108
- かんかけタクシー..... ☎82-2288

至宇野

宮の浜海水浴場

家浦港

豊島

唐櫃港

大丁場

神子浜海水浴場

至豊島・宇野

至高松

小豊島

小豆島
旅先案内

小豆島歳時記

莊嚴な霊場開きから、
熱気あふれる
お祭り、楽しいイベントまで……
一年を通して小豆島には
多彩な催しがあります。
そんな季節の表情も、
きつとあなたの旅を
素敵に彩ることでしょう。

■二月二十一日
島四国霊場開き
(小豆島霊場会)

小豆島八十八ヶ所の霊場をめぐる島四国
がはじまる霊場開白法要が行われます。

■四月七日
放哉忌
(小豆島尾崎放哉記念館)

自由律の俳人・尾崎放哉の命日に、放哉
を偲んで行われる供養です。

■四月二十一日
大師市
(五十八番霊場 西光寺)

西光寺に続く参道の両側に、にぎやかな
露店が立ち並び大勢の人が集まります。

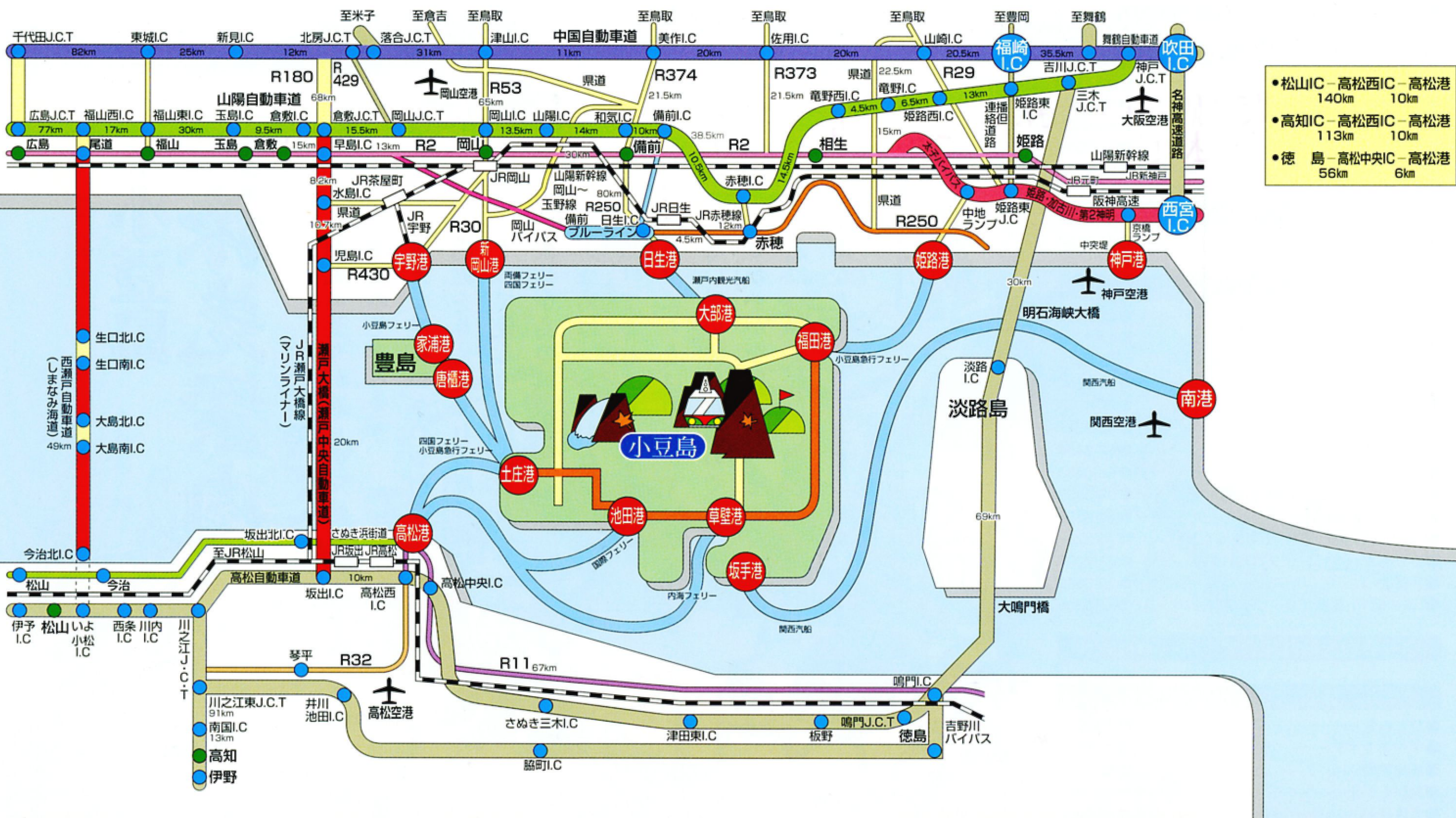
■五月三日
肥土山奉納農村歌舞伎
(肥土山)

古典芸能を今に伝える催し。重要有形民
俗文化財の舞台で演じられる歌舞伎芝居
です。

■六月最終日曜日から
海開き(島内各海水浴場)

■七月二日
虫送り(肥土山)

三百年前から島に伝わる夏の風物詩。虫
除けと豊作を祈る火祭りです。



高松から ・四国フェリー・小豆島急行フェリー
☎(0879) 62-0875 ☎(087) 822-4383
高松～土庄・池田・草壁(フェリー)

・国際フェリー
☎(0879) 75-0405
☎(087) 851-9848

・内海フェリー
☎(0879) 82-1080
☎(087) 821-8265

高松発	土庄・池田・草壁着	行先	船名	土庄・池田・草壁発	高松着	発港	船名
6:25	7:25	土庄	第二しょうどしま丸	5:30	6:30	池田	こくさい丸
6:50	7:50	池田	こくさい丸	6:36	7:36	土庄	第一しょうどしま丸
7:20	8:20	土庄	第七しょうどしま丸	7:15	8:10	池田	こくさい丸
8:02	9:02	土庄	第一しょうどしま丸	7:35	8:37	土庄	第二しょうどしま丸
8:32	9:32	池田	こくさい丸	7:50	8:50	草壁	ブルーライン
9:00	10:00	土庄	第二しょうどしま丸	8:35	9:35	土庄	第七しょうどしま丸
9:30	10:30	草壁	ブルーライン	9:25	10:25	土庄	第一しょうどしま丸
9:55	10:55	土庄	第七しょうどしま丸	9:50	10:50	池田	こくさい丸
10:40	11:45	土庄	第一しょうどしま丸	10:20	11:25	土庄	第二しょうどしま丸
11:10	12:10	池田	こくさい丸	10:50	11:50	草壁	ブルーライン
11:35	12:42	土庄	第二しょうどしま丸	11:20	12:25	土庄	第七しょうどしま丸
12:15	13:15	草壁	ブルーライン	11:50	12:50	池田	こくさい丸
12:35	13:35	土庄	第七しょうどしま丸	12:20	13:25	土庄	第一しょうどしま丸
13:10	14:10	池田	こくさい丸	13:00	14:00	池田	こくさい丸
13:40	14:40	土庄	第一しょうどしま丸	13:30	14:30	草壁	ブルーライン
14:10	15:10	池田	こくさい丸	13:53	14:53	土庄	第七しょうどしま丸
※14:48	15:48	草壁	ブルーライン	14:45	15:50	土庄	第二しょうどしま丸
15:10	16:15	土庄	第七しょうどしま丸	15:30	16:30	池田	こくさい丸
16:00	17:00	土庄	第二しょうどしま丸	15:45	16:55	土庄	第一しょうどしま丸
16:47	17:47	池田	こくさい丸	16:15	17:15	草壁	ブルーライン
17:20	18:25	土庄	第一しょうどしま丸	16:30	17:35	土庄	第七しょうどしま丸
17:43	18:43	草壁	ブルーライン	17:10	18:10	池田	こくさい丸
17:50	18:55	土庄	第七しょうどしま丸	17:30	18:35	土庄	第二しょうどしま丸
18:15	19:15	池田	こくさい丸	18:00	19:00	池田	こくさい丸
18:45	19:45	土庄	第二しょうどしま丸	18:40	19:45	土庄	第一しょうどしま丸
19:30	20:30	池田	こくさい丸	※19:00	20:00	草壁	ブルーライン
20:20	21:20	土庄	第一しょうどしま丸	19:30	20:35	土庄	第七しょうどしま丸
20:30	21:30	草壁	ブルーライン	20:10	21:15	土庄	第二しょうどしま丸

(注) ※印は危険物車両指定便(日、祭日は人も乗船できます)

姫路から ・小豆島急行フェリー
☎(0879) 84-2220 ☎(079) 234-7100
姫路～福田(フェリー) おりいぶ丸 第八おりいぶ丸

姫路発	福田着	福田発	姫路着
7:15	8:55	7:50	9:30
9:45	11:25	9:20	11:00
11:15	12:55	11:40	13:20
13:35	15:15	13:15	14:55
15:10	16:50	15:30	17:10
17:25	19:05	17:15	18:55
19:30	21:10	19:30	21:10

大阪から ・関西汽船
☎(0879) 82-2221 ☎(06) 6613-1571
大阪～小豆島(フェリー) さんふらわあ あいぼり さんふらわあ こぼると

港名	下り	大阪南港発	坂手港着
小豆島(季節便)	1便	8:00	11:30
	上り	坂手港発	大阪南港着
	1便	13:15	16:45

※詳細につきましてはお問い合わせください。

ダイヤが変更になる場合がございますので、直接お問い合わせください(上記ダイヤはH.21.3現在)

高松から ・四国フェリー・小豆島急行フェリー
☎(0879) 62-0875 ☎(087) 821-9436
高松～土庄(高速艇) スーパーマリン ※ひかり

高松発	土庄着	土庄発	高松着
7:40	8:10	7:00	7:30
※8:20	8:55	※7:30	8:05
9:10	9:40	8:20	8:50
※10:00	10:35	※9:10	9:45
10:40	11:10	10:00	10:30
※11:20	11:55	※10:40	11:15
13:00	13:30	11:20	11:50
※13:40	14:15	※13:00	13:35
14:20	14:50	13:40	14:10
※15:10	15:45	※14:20	14:55
15:50	16:20	15:10	15:40
※16:30	17:05	※15:50	16:25
17:10	17:40	16:30	17:00
※17:50	18:25	※17:10	17:45
18:30	19:00	17:50	18:20

夜間便	21:30	22:00	20:50	21:20
-----	-------	-------	-------	-------

高松から ・内海フェリー
☎(0879) 82-1080 ☎(087) 821-8265
高松～草壁(高速艇) サンオリブシー

高松発	草壁着	草壁発	高松着
7:50	8:35	7:00	7:45
10:30	11:15	9:00	9:45
13:50	14:35	12:50	13:35
15:50	16:35	14:45	15:30
18:50	19:35	17:45	18:30

※サンオリブシーは定期便終了後、チャーター船としてもご利用いただけます。

岡山から ・両備フェリー・四国フェリー
☎(0879) 62-0875 ☎(086) 274-1222
岡山～土庄(フェリー) おりんぴあどりーむ にゅうおりんぴあ 第五しょうどしま丸

新岡山発	土庄着	土庄発	新岡山着
6:20	7:30	7:00	8:10
7:20	8:30	8:00	9:10
8:30	9:40	8:45	9:55
9:30	10:40	9:50	11:00
10:30	11:40	11:00	12:10
11:20	12:30	12:00	13:10
13:00	14:10	13:00	14:10
13:55	15:05	14:30	15:40
15:00	16:10	15:30	16:40
16:00	17:10	16:30	17:40
16:50	18:00	17:30	18:40
18:05	19:15	18:10	19:20
19:30	20:40	19:25	20:35

バスと船がセットになった「かもめバスシップ」
フェリーセット1,200円もご利用ください。
岡山駅バス総合案内所及び土庄港切符売場で販売しています。
(バス乗り場: JR岡山駅前8番乗り場)

日生から ・瀬戸内観光汽船
☎(0879) 67-2331 ☎(0869) 72-0698
日生～大部(フェリー) フェリーひなせ

日生発	大部着	大部発	日生着
7:30	8:30	8:40	9:40
10:05	11:10	11:20	12:25
12:35	13:45	14:25	15:30
15:40	16:50	17:10	18:20
18:30	19:30	19:40	20:40



宇野から ・小豆島フェリー
☎(0879) 62-1348 ☎(0863) 21-3540
宇野～豊島～土庄(フェリー) ①てしま ②せとしお

宇野発	豊島家浦	豊島唐櫃	土庄着	土庄発	豊島唐櫃	豊島家浦	宇野着
① 5:25	6:05	→	6:45	② —	—	6:00	6:40
② 6:45	7:25	7:45	8:14	① 6:55	⑦ 7:25	7:45	8:24
① 8:35	9:15	9:35	10:04	② 8:40	9:10	9:30	10:09
② 11:10	11:50	12:10	12:39	① 10:10	⑩ 10:40	11:00	11:39
① 13:40	14:20	④ 14:40	15:09	② 13:10	13:40	14:00	14:39
② 15:25	16:05	16:25	16:54	① 15:50	⑥ 16:20	16:40	17:19
① 17:30	18:10	③ 18:30	18:59	② 17:50	18:20	18:40	19:19
② 19:25	20:05	—	—	① 19:10	→	19:50	20:30

(注) 豊島唐櫃港での車両扱いは上記①印のみです。

土庄町商工観光課・小豆島とのしょう観光協会

香川県小豆郡土庄町甲559-2
TEL 0879(62)7004 FAX 0879(62)7070
URL <http://www.town.tonosho.kagawa.jp/kanko>
E-MAIL kanko@town.tonosho.kagawa.jp

Photograph by Kenji Hotta
Produced by Masako Yoneda
PHOTO 前田好弘
無断転載を禁止します

表紙: 小豆島霊場第54番 宝生院 真柏(国指定特別天然記念物)